

医療政策の変容と ヘルスサポート

- 2007年3月24日
- 日本ヘルスサポート学会
- 慶應義塾大学 田中 滋

分析概念

- ① 理念(ビジョン)
- ② 使命(ミッション)
- ③ 価値(ヴァリュー)
- ④ 中核概念(コアコンセプト)
- ⑤ 中核技術(コアテクノロジー)
- ⑥ 戦略(ストラテジー)

比較：日本の介護分野

- ① 理念：尊厳ある自立の支援
- ② 使命：未曾有の高齢者増への対応
- ③ 価値：中流層の介護ニーズ社会化
- ④ 中核概念：準市場創造
- ⑤ 中核技術：要介護度別給付額・要介護認定・現金給付事業者代理受領・CM
- ⑥ 戦略：介護保険制度創設

比較：アメリカ合衆国のDM

- ① 理念：？
- ② 使命：MCO批判への対応
- ③ 価値：保険者の支出削減
- ④ 中核概念：重症者介入
- ⑤ 中核技術：階層化・コールセンター
- ⑥ 戦略：成功報酬

比較：日本の医療保険政策

- ① 理念：？
- ② 使命：MOFと経済財政諮問会議対応
- ③ 価値：医療費上昇抑制
- ④ 中核概念：メタボリックシンドローム
- ⑤ 中核技術：特定検診と特定保健指導
- ⑥ 戦略：支援金

ヘルスサポート

- ① 理念：ヘルスサポート
- ② 使命：健康寿命増
- ③ 価値：QOL
- ④ 中核概念：疾病予防と介護予防
- ⑤ 中核技術：標準化と質
- ⑥ 戦略：多様な主体への働きかけ

ヘルスサポート成功のために —対象者(消費者・患者・被保険者)—

- 情報を知らされ、積極的にプログラムに参加する消費者
- アクションプラン
- 利用者教育
- 統合されたケア

ヘルスサポート成功のために —対象者(サービス提供者)—

- 知識を持ち、対象者(群)ごとに事前の準備策を用意した提供チーム
- ガイドライン
- 訓練
- 安全性確保と確認
- データベースと自動ヘルスレコード

ヘルスサポート成功のために —両者の間で—

- 標準化ケアパス
- ケアの調整
- 文化・生活背景理解
- 働きかけと問い合わせへの対応
- フォローアップ
- 質の認証

課題

- 「介入→成果」は当然
- 継続
- 対象者とインセンティブ
 - 事業主
 - 都道府県、市町村
 - 医療提供者